

コンピュータチェス世界選手権

コンピュータオリンピック ゲーム情報学国際会議

日 程

月日(曜)	午前開始イベント	午後開始イベント	終 日
9/24(金)	10:30～12:00 開会式(関係者のみ)	13:00～17:00 ゲーム情報学国際会議(関係者のみ)	10:00～17:00
9/25(土)	8:30～12:30 ゲーム情報学国際会議(関係者のみ) 10:00～13:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	14:00～17:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	アレクサンダー・ゲルマン氏デザインによる 石川県伝統工芸品 (山中漆器・九谷焼), チェス駒とチェス卓 の展示
9/26(日)	8:30～12:30 ゲーム情報学国際会議(関係者のみ) 10:00～13:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	13:00～15:50 金沢子ども科学財団 算数・数学チャレンジ講座(関係者のみ) 14:00～17:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	
9/27(月)	イベントは小休止(イベント参加者による交流小旅行。関係者のみ)		
9/28(火)	10:00～13:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	14:00～17:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	10:00～17:00 アレクサンダー・ゲルマン氏デザインによる 石川県伝統工芸品 (山中漆器・九谷焼), チェス駒とチェス卓 の展示
9/29(水)	10:00～13:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	14:00～17:00 チェス・将棋・囲碁・その他の対戦	
9/30(木)	9:00～12:00,13:00～18:00(途中適宜休憩あり) 将棋ソフトの対戦解説:大内延介 九段 9:00～12:00,13:00～18:00(途中適宜休憩あり) 囲碁ソフトの対戦解説:白江治彦 八段		
10/1(金)	9:00～12:00,13:00～18:00(途中適宜休憩あり) 将棋ソフトの対戦解説:大内延介 九段 9:00～12:00,13:00～18:00(途中適宜休憩あり) 囲碁ソフトの対戦解説:白江治彦 八段		
10/2(土)	10:30～12:00 特別講演 「コンピュータは名人を超えられるか」 講師:大内延介 九段	13:00～15:00 マン・マシン対決 藤沢里菜 初段vsコンピュータ囲碁 優勝ソフト 解説:白江治彦 八段	

※会場は「しいのき迎賓館」で、入館は無料です。ただし、(関係者のみ)の表記の部分は観戦等ができません。

作者・講師等紹介



アレクサンダー・ゲルマン アーティスト

MoMA (NY近代美術館)は「あらゆるメディアにおいて世界で最も影響力のあるアーティストの一人」に2001年ゲルマンの名前を挙げる。ニューヨーク、ヨーロッパを拠点に国際大手企業の一貫したブランディング、プロダクト企画からPR戦略、映像、ウェブ製作を手がけてきたが、近年は日本の伝統工芸品の企画デザインを手がけ、国内外のメディアに注目されている。近著『アレクサンダー・ゲルマン:ポストグローバル』では、日本の地方文化は世界最高の技術と文化を擁し、観光を始めとするビジネスの可能性の宝庫だと説く。

<http://gelmanschess.com/> <http://glm.com/> <http://globallylocalmedia.com/>



大内 延介 九段

昭和16年生まれ。東京都出身。小学4年生のときから本格的に将棋にのめり込む。小学6年生のときには、将棋の駒で有名な山形県天童市で1か月に及ぶ将棋修行をする。13歳で土居市太郎名誉名人に弟子入り、21歳でプロデビュー。昭和50年度棋王戦で初代棋王の座に着く。穴熊戦法を得意とし、著書に「穴熊戦法」、「史上最強の穴熊」などがある。昭和50年度NHK杯優勝、昭和61年度全日本プロトーナメント優勝などの戦績を有する。スポーツも得意とし、スキー、登山、ゴルフなどに造詣が深い。



白江 治彦 八段

昭和13年生まれ。石川県小松市出身。大窪一玄門下。中央戦を得意とし、珍しい着点である「大高目」や「浮かび」なども多用。また、第六線を3連打する布石「アポロ流」で藤沢秀行を破った碁を「生涯思い出の一局」に挙げている。アマチュアへの囲碁普及にも努め、TBS「囲碁アワー」やNHK「囲碁講座」、同「囲碁ウィークリー」の講師・キュスターを務め、テレビ囲碁番組制作者会賞(昭和62年)や日本囲碁ジャーナリストクラブ賞(平成3年)などを受賞している。平成9年には日本棋院会館で230面打ちを成し遂げ、世界記録更新中である。



藤沢 里菜 初段

平成10年生まれ。埼玉県出身。祖父は藤沢秀行名誉棋聖、父は藤沢一就八段。6歳から囲碁をはじめ、小学1年生のときにはプロになることを意識しはじめていた。この頃から、兄と一緒に小中学校囲碁団体戦全国大会に出場し、2年連続優勝を成し遂げる。棋士採用試験に合格し、平成22年4月、11歳6か月でプロとなる。これは日本囲碁界での史上最年少記録である。平成22年6月には、第36期棋聖戦予選で神田英九段に勝利し、女流棋士最年少勝利記録も更新した。現在、小学6年生で得意科目は、国語と音楽。